

根羽村誌目次 下巻

前根羽村長 菅沼 眞佐人

題 字  
口 絵

第四編 近代

第一章 村の沿革……………三

第一節 地方行政機構の変遷……………三

一 明治維新……………三

1 封建制の崩壊……………三

2 維新時の根羽・月瀬村……………三

二 府藩県制と伊那県の成立……………四

1 伊那県の設置……………四

三 廃藩置県と筑摩県の設置……………七

1 廃藩置県……………七

2 筑摩県の成立……………七

3 筑摩県の積極行政……………八

四 戸籍区の設置と区制の実施……………九

1 戸籍区の設定……………九

2 区制の実施……………九

五 戸長と戸長役場……………二〇

1 戸長制……………二〇

2 戸長役場……………二二

3 戸長時代の根羽村……………二三

六 新長野県の成立……………二四

七 郡制の施行……………二四

第二節 町村制の実施……………二五

一 明治初期の町村合併……………二五

二 根羽・月瀬村の合併……………二五

三 新根羽村の成立……………二六

四 町村制の施行……………二七

第三節 戸籍と戸口……………二七

一 壬申戸籍の作成……………二七

1 村の新戸籍……………二七



2	宗門帳と戸籍簿	一八
二	戸数と人口の変遷	一九
1	戸数の変化	一九
2	人口の変化	一九
3	村のすがた	一九
4	月瀬の通婚圏	二三
第二章 村政と財政		
二五		
第一節 村 政		
二五		
一	村政の推移	二五
1	根羽村	二五
2	旧月瀬村	三〇
3	衛生組合と隔離病舎	三三
二	村の議会	三六
1	町村会規則の公布	三六
2	村 会	三七
三	大正十二年の役場日誌	三六
四	村政に尽した人々	四一
1	村の三役	四一
2	村会議員	四二
第二節 地租の改正		
四四		
一	貢租と貯穀	四四
第三章 産 業		
三三		
第一節 農 業		
三三		
一	耕地と農産物	三三
1	耕地面積	三三
2	米と麦作	三六
二	不況下の様相	三九
1	税金の滞納	三九
2	米騒動と対策	四〇
三	大正期の財政と予算	五七
1	明治前半期の財政と予算	五七
2	明治後半期の財政と予算	五七
3	大正期の財政と予算	五九
第三節 村の財政		
五五		
一	財 政	五五
1	明治前半期の財政と予算	五五
2	明治後半期の財政と予算	五七
3	大正期の財政と予算	五九
4	地価軽減運動	五九
5	山林原野の地租改正	五九
1	地券の交付	六四
2	筑摩県の地租改正	六四
3	地価の算定	六四
4	地価軽減運動	六四
5	山林原野の地租改正	六四
1	租 税	四四
2	貯 穀	四七
二	壬申地券の発行	四八
1	地券の交付	四八
2	筑摩県の地租改正	四八
3	地価の算定	四九
4	地価軽減運動	四九
5	山林原野の地租改正	四九



3 農産物	六四	2 市場と牧場の開設	六五
1 農家規模と農民の努力	六五	1 産馬振興	八五
2 農家戸数の変化	六五	2 宿駅制度の改革	八七
3 農民の努力	六五	3 人馬継立ての施設	八七
4 蚕糸業と煙草栽培	六六	4 陸運会社の設立	九〇
5 養蚕	六六	5 道路の改修	九二
6 煙草の栽培	七〇	6 道路行政	九二
7 農事暦と農家の経費	七三	7 三州街道	九三
8 農事暦	七三	8 豊橋街道	九五
9 農家の経費	七六	9 岐阜街道	九六
10 農業振興への施策	七六	10 一級里道小戸名線	九七
11 開産社	七六	11 交通量	九八
12 農会と農友会	七九	12 人の往来	九八
13 農会と農友会	七九	13 物資の往来	九八
14 農会と農友会	七九	14 職人の構成	八三
15 農会と農友会	七九	15 明治前期の変化	八三
16 農会と農友会	七九	16 部落別の職人構成	八四
17 農会と農友会	七九	17 畜産業	八四
18 農会と農友会	七九	18 村内の牧畜	八四
19 農会と農友会	七九	19 牛・馬の飼育頭数	八四
20 農会と農友会	七九	20 中馬による運送荷物	一〇五
21 農会と農友会	七九	21 中馬制度の改変	九九
22 農会と農友会	七九	22 明治中馬時代の村	一〇三
23 農会と農友会	七九	23 中馬による運送荷物	一〇五
24 農会と農友会	七九	24 中馬による運送荷物	一〇五
25 農会と農友会	七九	25 中馬による運送荷物	一〇五
26 農会と農友会	七九	26 中馬による運送荷物	一〇五
27 農会と農友会	七九	27 中馬による運送荷物	一〇五
28 農会と農友会	七九	28 中馬による運送荷物	一〇五
29 農会と農友会	七九	29 中馬による運送荷物	一〇五
30 農会と農友会	七九	30 中馬による運送荷物	一〇五
31 農会と農友会	七九	31 中馬による運送荷物	一〇五
32 農会と農友会	七九	32 中馬による運送荷物	一〇五
33 農会と農友会	七九	33 中馬による運送荷物	一〇五
34 農会と農友会	七九	34 中馬による運送荷物	一〇五
35 農会と農友会	七九	35 中馬による運送荷物	一〇五
36 農会と農友会	七九	36 中馬による運送荷物	一〇五
37 農会と農友会	七九	37 中馬による運送荷物	一〇五
38 農会と農友会	七九	38 中馬による運送荷物	一〇五
39 農会と農友会	七九	39 中馬による運送荷物	一〇五
40 農会と農友会	七九	40 中馬による運送荷物	一〇五
41 農会と農友会	七九	41 中馬による運送荷物	一〇五
42 農会と農友会	七九	42 中馬による運送荷物	一〇五
43 農会と農友会	七九	43 中馬による運送荷物	一〇五
44 農会と農友会	七九	44 中馬による運送荷物	一〇五
45 農会と農友会	七九	45 中馬による運送荷物	一〇五
46 農会と農友会	七九	46 中馬による運送荷物	一〇五
47 農会と農友会	七九	47 中馬による運送荷物	一〇五
48 農会と農友会	七九	48 中馬による運送荷物	一〇五
49 農会と農友会	七九	49 中馬による運送荷物	一〇五
50 農会と農友会	七九	50 中馬による運送荷物	一〇五
51 農会と農友会	七九	51 中馬による運送荷物	一〇五
52 農会と農友会	七九	52 中馬による運送荷物	一〇五
53 農会と農友会	七九	53 中馬による運送荷物	一〇五
54 農会と農友会	七九	54 中馬による運送荷物	一〇五
55 農会と農友会	七九	55 中馬による運送荷物	一〇五
56 農会と農友会	七九	56 中馬による運送荷物	一〇五
57 農会と農友会	七九	57 中馬による運送荷物	一〇五
58 農会と農友会	七九	58 中馬による運送荷物	一〇五
59 農会と農友会	七九	59 中馬による運送荷物	一〇五
60 農会と農友会	七九	60 中馬による運送荷物	一〇五
61 農会と農友会	七九	61 中馬による運送荷物	一〇五
62 農会と農友会	七九	62 中馬による運送荷物	一〇五
63 農会と農友会	七九	63 中馬による運送荷物	一〇五
64 農会と農友会	七九	64 中馬による運送荷物	一〇五
65 農会と農友会	七九	65 中馬による運送荷物	一〇五
66 農会と農友会	七九	66 中馬による運送荷物	一〇五
67 農会と農友会	七九	67 中馬による運送荷物	一〇五
68 農会と農友会	七九	68 中馬による運送荷物	一〇五
69 農会と農友会	七九	69 中馬による運送荷物	一〇五
70 農会と農友会	七九	70 中馬による運送荷物	一〇五
71 農会と農友会	七九	71 中馬による運送荷物	一〇五
72 農会と農友会	七九	72 中馬による運送荷物	一〇五
73 農会と農友会	七九	73 中馬による運送荷物	一〇五
74 農会と農友会	七九	74 中馬による運送荷物	一〇五
75 農会と農友会	七九	75 中馬による運送荷物	一〇五
76 農会と農友会	七九	76 中馬による運送荷物	一〇五
77 農会と農友会	七九	77 中馬による運送荷物	一〇五
78 農会と農友会	七九	78 中馬による運送荷物	一〇五
79 農会と農友会	七九	79 中馬による運送荷物	一〇五
80 農会と農友会	七九	80 中馬による運送荷物	一〇五
81 農会と農友会	七九	81 中馬による運送荷物	一〇五
82 農会と農友会	七九	82 中馬による運送荷物	一〇五
83 農会と農友会	七九	83 中馬による運送荷物	一〇五
84 農会と農友会	七九	84 中馬による運送荷物	一〇五
85 農会と農友会	七九	85 中馬による運送荷物	一〇五
86 農会と農友会	七九	86 中馬による運送荷物	一〇五
87 農会と農友会	七九	87 中馬による運送荷物	一〇五
88 農会と農友会	七九	88 中馬による運送荷物	一〇五
89 農会と農友会	七九	89 中馬による運送荷物	一〇五
90 農会と農友会	七九	90 中馬による運送荷物	一〇五
91 農会と農友会	七九	91 中馬による運送荷物	一〇五
92 農会と農友会	七九	92 中馬による運送荷物	一〇五
93 農会と農友会	七九	93 中馬による運送荷物	一〇五
94 農会と農友会	七九	94 中馬による運送荷物	一〇五
95 農会と農友会	七九	95 中馬による運送荷物	一〇五
96 農会と農友会	七九	96 中馬による運送荷物	一〇五
97 農会と農友会	七九	97 中馬による運送荷物	一〇五
98 農会と農友会	七九	98 中馬による運送荷物	一〇五
99 農会と農友会	七九	99 中馬による運送荷物	一〇五
100 農会と農友会	七九	100 中馬による運送荷物	一〇五



4	中馬株と頭数の変化	二〇八
二	中馬の風俗	二〇〇
1	馬追いと中馬の様相	二〇〇
2	道中娯楽	二〇四
3	馬の病氣	二〇六
三	運輸機関の発達	二二七
1	運送馬車の出現	二二七
2	自動車の運行	二二九
3	幻の鉄道	二三〇
第五章 通信と電気		
二四		
第一節	通信	二四
一	郵便制度	二四
1	飛脚から郵便へ	二四
2	郵便取扱所の設置	二五
3	電信の開始	二五
第二節	水力電気会社の設立	二六
一	設立の経過	二六
1	電燈の出現	二六
2	根羽水力電気設立の経過	二六
二	規模と建設工事	二七
1	会社の規模	二七
2	建設工事	二八
三	経営と解散	二九
1	経営	二九
2	伊那電への譲渡	三〇
第六章 消防と警察		
三三		
第一節	消防	三三
一	消防組織の成立	三三
1	消防組規則の制定	三三
2	根羽村消防組	三三
二	村内の火災	三三
1	明治期の火事	三三
2	放火事件	三三
三	火災予防規約の制定	三四
1	野火防禦法規約	三四
2	火災予防規約書	三四
第二節	警察	三五
一	警察制度の成立	三五
二	根羽駐在所の変遷	三五
1	屯所の開設	三五
2	分署の開設	三七



第七章 兵 事……………三三

第一節 徴兵制度と戦役……………三三

一 徴兵令の公布……………三三

二 明治と大正期の戦役……………三三

1 日清戦争……………三三

2 日露戦争……………三三

3 南信新聞の報道……………三三

4 大正期の戦役……………三三

第二節 銃後の援助……………三三

一 軍人救護組織……………三三

1 尚武会の結成と活躍……………三三

2 在郷軍人会の変遷と活動……………三三

3 出征兵家庭への援助……………三三

二 村葬と戦病死者……………三三

1 村葬の執行……………三三

2 明治・大正期の戦死・病死者……………三三

付表 近代の兵事年表……………三三

第八章 神社と寺院……………三五

第一節 七宮めぐり……………三五

第二節 神 社……………三五

一 主な神社……………三五

1 八柱神社……………三五

2 月瀬神社……………三五

3 大船社大権現……………三五

4 天皇社……………三五

5 浅間神社……………三五

6 伊勢神明社……………三五

7 御 鎌 社……………三五

二 神社の合併……………三五

1 神社の統合……………三五

2 神社の立木……………三五

3 舞台の移転……………三五

第三節 寺院と堂宇……………三五

一 村内の寺……………三五

1 普門山宗源寺……………三五

2 普学山一心寺……………三五

3 経王山感応寺……………三五

4 廃 寺……………三五

二 堂 宇……………三五

1 十 王 堂……………三五

2 その他の堂宇……………三五



## 第五編 現代

## 第一章 産業と戸口……………一七三

## 第一節 戸数と人口……………一七三

一 部落別戸数と人口……………一七三

二 戸口の変化……………一七三

三 産業別就業人口の推移……………一七三

1 終戦直後の産業別就業人口……………一七三

2 昭和三十年産業別、男女別、就業者数……………一七三

3 昭和四十年以降産業別就業人口……………一七六

## 第二節 農 業……………一七九

一 農家戸数と人口……………一七九

1 長野県の農家戸数……………一七九

2 根羽村の農家総人口……………一七九

3 農 家 数……………一七九

4 農 家 率……………一七九

二 農耕面積……………一八〇

三 農耕面積の変化……………一八〇

四 作付作物……………一八二

## 第三節 林 業……………一八三

一 山林の面積……………一八三

二 山林の経営……………一八四

1 分収林・貸付山・採草地……………一八四

2 官公造林……………一八四

3 結婚記念林……………一八五

4 椎 茸……………一八六

三 林 産 物……………一八六

1 木材及び製材……………一八六

2 木 炭……………一八七

3 東木・ガス薪・チップ……………一八八

4 す ざ 竹……………一八八

四 林道・作業道……………一八八

五 山林地名……………一八八

## 第四節 養 蚕……………一九九

一 飼育戸数と生産量……………一九九

二 産繭処理の推移……………一九九

三 根羽村の養蚕……………一九九

四 製 糸……………一九九

## 第五節 畜 産……………一九九

一 馬……………一九九



1 馬の歴史	一九三	八 畜産組合	二〇八
2 根羽村の馬	一九四	第六節 商工業	二一〇
3 種牝馬證明書	一九四	一 商業	二一〇
4 農家数と馬飼育数	一九五	1 産業別従業員数の変化	二一〇
二 牛	一九六	2 商店の変遷	二一一
1 牛の歴史	一九六	3 昭和初期の商業	二一三
2 根羽村の乳牛	一九六	二 工業	二一四
3 根羽村の和牛	一九九	1 工業種別の変化	二一四
三 養豚	二〇〇	2 工業の業種別構成	二一五
1 豚の品種	二〇〇	3 主な企業	二一五
2 根羽村の豚	二〇一	第七節 農村の金融	二一七
四 その他の家畜	二〇一	一 江戸時代	二一七
1 やぎ	二〇一	1 田畑の譲渡と質地借入れ	二一七
2 ひつじ	二〇二	2 無尽講	二一九
3 うさぎ	二〇二	二 明治以降	二二〇
4 にわとり	二〇二	1 大畑信用組合	二二〇
五 家畜市場	二〇四	2 銀行・信金	二二〇
1 馬市	二〇四	第八節 観光	二二三
2 牛市	二〇四	一 村の観光計画	二二三
六 種馬所	二〇六	1 村の観光地設定の動き	二二三
七 牧場	二〇七	2 観光地の概要	二二三
1 丸山牧場	二〇七	3 茶臼山調査参考資料	二二三
2 西の平牧場	二〇七		
3 ムネバタ牧場	二〇八		
4 茶臼山牧場	二〇八		



4	観光協会の設立	三二四	5	坂町線	三二五
5	村の観光開発計画	三二六	6	柿の平線	三二五
二 観光地		三二六	7	東又線	三二五
1	茶臼山	三二六	8	新井線	三二五
2	小戸名溪谷	三二七	9	大又線	三二五
3	根羽峽	三二八	10	小栃線	三二五
4	景勝地の多い村内	三二八	11	林道浅間線	三二五
第二章 交通と通信		三三三	第二節 運輸		三二六
第一節 道路と橋		三三三	一 交通機関の発達		三二六
一 国道		三三三	1	昭和初期	三二六
1	一五三号線	三三三	2	昭和中期	三二六
2	根羽地区の改修工事	三三三	3	昭和後期	三二七
3	国道の改修と生活の変化	三三三	二 乗合自動車		三二六
二 主要地方道と県道		三三三	1	信南バス	三二六
1	設楽根羽線(主要地方道)	三三三	2	名鉄バス	三二八
2	阿南根羽線(〃)	三三三	3	豊橋バス	三二八
3	月瀬上矢作線(県道)	三三三	4	名飯急行バス	三二九
三 主な村道		三三四	第三節 通信		三三〇
1	大曾礼線	三三四	一 郵便		三三〇
2	池の平線	三三五	二 電信・電話		三三〇
3	取手線	三三五	1	電信	三三〇
4	如来寺線	三三五	2	電話	三三一
			三 ラジオ・テレビ		三三二



四 有線放送	二四三	二 戦時中	二五七
五 無線情報連絡施設	二四四	三 昭和から平成へ	二五七
		1 住みよい村作り	二五七
		2 大型事業の推進	二五九
第三章 行政と社会	二四二	第四節 昭和の大恐慌	二六〇
第一節 戸数と人口の推移	二四二	一 概説	二六〇
一 人口と戸数	二四二	二 農村不況時代	二六一
二 年齢構成	二四三	三 村の経済更生計画	二六三
第二節 行政機構	二四六	第五節 国策と移民	二六五
一 根羽村の機構	二四六	一 満州開拓移民	二六五
1 役場の位置	二四八	1 国策と事業	二六五
2 村の行政機構	二四九	2 南信濃郷開拓団	二六七
3 村三役	二五〇	3 開拓団の悲劇	二六九
二 議会	二五〇	二 満州開拓青少年義勇軍	二六九
三 各種委員会	二五二	1 満州開拓と義勇隊	二六九
1 農業委員会	二五二	2 根羽村の義勇隊	二六九
2 民生・児童委員会	二五三	三 殉難者名簿	二七〇
3 選挙管理委員会	二五三	1 開拓団	二七〇
4 監査委員会	二五三	2 青少年義勇軍	二七一
5 その他の委員会	二五六	第六節 戦争と生活	二七一
第三節 予算と財政	二五五	一 物質の統制と配給	二七一
一 昭和初期	二五五	二 徴用	二七三



三 戦没者名簿	二七五	1 災害時の雨量	二九九
付表 昭和軍国時代年表	二七六	2 被害状況	二九九
第七節 終戦と民主化	二八二	3 災害対策	三〇〇
一 占領政策	二八一	第九節 民生福祉	三〇〇
二 農地改革	二八一	一 国民健康保険	三〇〇
三 物資の欠乏とインフレ	二八三	二 国民年金	三〇一
四 池の平の開拓	二八四	三 村営水道	三〇二
1 長野県在外同胞引揚げ	二八四	四 保育所	三〇四
2 帰還促進更生振起	二八五	1 季節保育所	三〇四
3 開拓の歩み	二八六	2 保育所	三〇四
4 池の平の立地条件と心血・努力	二九〇	第四章 公共団体	三〇五
五 経済成長	二九二	第一節 経済団体	三〇五
六 過疎対策	二九二	一 農業協同組合	三〇五
1 過疎現象	二九二	1 維新前後の組合の萌芽	三〇五
2 山村振興事業	二九三	2 協同的組織	三〇五
3 過疎地域振興計画	二九三	3 播らん時代の産業組合	三〇七
4 ゴルフ場の開設	二九四	4 部落組合の業績	三〇八
第八節 災害と防災	二九五	5 根羽村の農会・農業協同組合	三〇〇
一 集中豪雨	二九五	二 森林組合	三〇四
1 災害時の雨量	二九五	1 創立への動き	三〇四
2 被害状況	二九五	2 組合の設立	三〇五
3 災害対策	二九七		
二 伊勢湾台風	二九五		



	3 組合の変遷と課題	三六
	三 漁業組合	三七
	1 ご馳走だった川魚	三七
	2 漁業組合の結成	三八
	四 商工会	三九
	1 商工会の沿革	三九
	2 主な事業内容	三〇
	第二節 文化団体	三三
	一 青年団	三三
	1 根青同志会の設立	三三
	2 大正の時代	三三
	3 昭和の初期	三三
	4 昭和の中期	三三
	5 昭和の後期	三三
	二 婦人会	三四
	三 老人クラブ	三五
	第六編 教育	
	第一章 学制以前	三四
	一 寺小屋教育の概要	三四
	二 根羽村における寺子屋	三四
	第二章 学制以降	三五
	第一節 有道小校	三五
	一 学制発布	三五
	1 発足	三五
	2 会則と構成員	三五
	3 主な行事と活動	三六
	四 体育協会	三七
	第三節 その他の団体	三八
	一 消防団	三八
	二 交通安全協会	三〇
	付録 近・現代の人物略伝	三一
	1 浅井 稲夫	三一
	2 浅井重治郎	三一
	3 石原折太郎	三一
	4 片桐 けい	三四
	5 片桐重五郎	三四
	6 片桐 英郎	三五
	7 平岩 平志	三六
	8 松下彦三郎	三七
	9 渡瀬 凌雲	三八



二 宗源寺に開校	三六	三 学校焼失と再建	三六
三 学校経費	三六	四 国定教科書	三六
四 学校の概況	三七	五 学校経費と卒業者数	三七
第二節 根羽学校	三八	第六節 国民学校	三七
一 学区変更	三八	一 国民学校へ	三七
二 新築移転	三八	二 銃後の教育	三七
三 教育令の改正	三九	三 学校行事	三七
四 根羽学校規則	三九	第三章 六・三・三・四制	三七
五 学校経費	三九	第一節 根羽小学校	三七
第三節 根羽尋常小学校	三五	一 新学制発足	三七
一 簡易科	三五	二 学校給食	三七
二 就学状況	三五	三 施設の増改築	三八
三 保護会	三七	四 卒業児童数の推移	三八
四 教育勅語	三八	第二節 根羽中学校	三〇
第四節 三つの分教場	三五九	一 中学校発足	三〇
一 設置	三五九	二 校舎建築	三〇
二 再興	三五九	三 生徒数の推移	三〇
三 本校に統合	三六	第三節 高等学校分校	三六
第五節 根羽尋常高等小学校	三六	一 下伊那農業高等学校分校	三六
一 高等科設置	三六		
二 学校建築	三六		



二 阿智高等学校分校 ..... 三六五

第四章 青年教育 ..... 三六七

一 補習教育 ..... 三六七

二 青年訓練所 ..... 三六八

三 青年学校 ..... 三九一

第五章 社会教育 ..... 三九五

一 公民館 ..... 三九五

二 保育所 ..... 三九三

### 第七編 民俗と文化財

第一章 社会生活 ..... 四〇一

第一節 村のくらしと制度 ..... 四〇一

一 村のなりたち ..... 四〇一

1 原住民 ..... 四〇一

2 武士その他の外来者の土着 ..... 四〇一

二 村のしくみ ..... 四〇一

1 部落 ..... 四〇一

2 部落の役職 ..... 四〇一

第六章 教育委員会 ..... 三九四

一 根羽村教育委員会の発足 ..... 三九四

二 歴代教育委員名 ..... 三九四

第七章 学校林 ..... 三九六

第一節 学校林創設 ..... 三九六

第二節 その後の変遷 ..... 三九七

3 寄合い ..... 四〇六

4 若い衆 ..... 四〇六

5 きまり ..... 四〇七

三村の生活 ..... 四〇八

1 生活の維持 ..... 四〇八

2 組の共同作業 ..... 四〇八

第二節 共有財産 ..... 四〇八

一 用水 ..... 四〇八

二 萱場 ..... 四〇九



三	橋 木 山	四〇
四	弘法堂と観音堂	四〇
1	堂の機能	四〇
2	信仰の場としての堂	四〇
3	集会の場としての堂	四一
4	身代わり猿と千羽鶴	四一
5	十王堂	四一
第三節 衣・食・住		
一 衣		
1	男性の衣類	四二
2	女性の服装	四四
3	晴 着	四五
4	作 業 着	四七
5	子供の衣類	四七
6	髪型・化粧など	四九
7	その他	四〇
二 食		
1	主 食	四二
2	副 食	四三
3	調味料	四三
4	その他の調味料	四四
5	その他	四四
三 住		
1	建築様式	四六
第四節 家のきまり		
一 家		
1	家の成立	四八
2	屋 号	四九
3	家 紋	四九
二 家族関係		
1	相続・隠居・分家	四〇
2	同族・親族関係	四一
3	養い子	四一
第五節 民俗知識		
一 医療と民間薬		
1	民間医療	四二
2	民間薬	四三
3	置 薬	四五
二 呪 い		
三 暦 法		
1	陰陽・干支の慣行	四六
2	五行・干支の使い方	四七
2	間 取 り	四六
3	蔵	四八
4	物 置	四八



## 第二章 經濟生活…………… 四三九

## 第一節 生産・生業…………… 四三九

## 一 農 耕…………… 四三九

1 水 田…………… 四三九

2 畑…………… 四四〇

3 季節曆…………… 四四二

4 農事ごよみ…………… 四四三

5 農 具…………… 四四六

## 二 山 樵…………… 四四九

1 山の仕事…………… 四四九

2 運 搬…………… 四五〇

3 木材流し…………… 四五〇

## 三 養 蚕…………… 四五二

1 種類・規模…………… 四五二

2 飼 育…………… 四五二

3 繭の処理…………… 四五二

4 儀 礼…………… 四五二

## 四 馬…………… 四五二

1 人と馬…………… 四五二

2 繁殖と種馬所…………… 四五二

3 市 場…………… 四五三

4 馬から牛へ…………… 四五三

## 五 狩猟など…………… 四五三

1 狩 猟…………… 四五三

2 猪の捕獲と防除…………… 四五四

3 山うさぎの捕獲…………… 四五五

4 つぐみ猟…………… 四五五

5 生息の変化…………… 四五五

## 第二節 交通・交易…………… 四五六

## 一 往 還…………… 四五六

1 交 通…………… 四五六

2 宿場と中馬…………… 四五七

3 街道の施設…………… 四五八

4 馬方のきまり…………… 四五八

5 運送馬…………… 四五九

## 二 交 易…………… 四五九

1 物々交換…………… 四五九

2 行 商…………… 四五九

3 商 店…………… 四六〇

## 第三節 金融関係と講…………… 四六一

## 一 質 屋…………… 四六一

## 二 金 貸 し…………… 四六一

## 三 講(無尺・頼母子講)…………… 四六二



## 第三章 人の一生……………四三

## 第一節 冠……………四三

一 妊娠・出産・生児儀礼……………四三

1 帯祝い……………四三

2 出産……………四三

3 お七夜……………四三

4 うぶやしない……………四三

5 産屋明け……………四三

6 食い初め……………四四

二 育 児……………四四

1 誕生祝い……………四四

2 初節供……………四四

3 育 児……………四四

三 成 年……………四四

## 第二節 結 婚……………四五

一 婚 約……………四五

二 結 納……………四五

三 挙 式……………四六

四 里 帰 り……………四七

五 通 婚 圏……………四六

六 公民館結婚式……………四六

## 第三節 葬 儀……………四九

一 死……………四九

二 準 備……………四九

三 葬 送……………四〇

四 忌明・ご苦労振舞い……………四七

五 北掛けの着物……………四七

六 墓 制……………四七

七 年 忌……………四七

## 第四節 祭 祀……………四七

一 産 土 神……………四七

二 屋敷神……………四七

三 山の神……………四七

四 山の講と御幣餅……………四七

## 第四章 年中行事……………四五

## 第一節 年の暮れ……………四五

一 年 迎 え……………四五

1 すすはらい……………四五

2 松 迎 え……………四五

3 餅 つ き……………四五

4 おおみそか……………四五



第二節 正月……………四七六

一 正月……………四七六

1 元旦……………四七六

2 仕事はじめ……………四七六

3 遊び……………四七六

二 旧正月……………四七六

1 旧正月の行事……………四七六

2 行事の内容……………四七六

3 神仏参り……………四七六

4 子どもの行事……………四七六

第三節 季節の行事……………四七六

一 春……………四七六

1 節分……………四七六

2 初午……………四七六

3 彼岸……………四七六

4 雛まつり……………四七六

5 春祭り……………四七六

6 花祭り……………四七六

7 おんそ祭り……………四七六

8 天神さま……………四七六

二 夏……………四七一

1 端午の節供……………四七一

2 半夏生……………四七二

3 祇園祭り……………四八二

4 七夕祭り……………四八三

5 盆……………四八三

三 秋……………四八四

1 やく日……………四八四

2 秋彼岸……………四八四

3 お月見……………四八四

4 秋祭り……………四八四

5 刈り上げ……………四八五

四 冬……………四八五

1 こぼし上げ……………四八五

2 おくんち……………四八五

3 恵比須講……………四八五

第五章 信仰……………四八六

第一節 神仏……………四八六

一 部落の氏神……………四八六

二 夜念仏……………四八六

三 百万遍……………四八七

四 こと神送り……………四八七

第二節 講……………四八八

一 庚申講……………四八八



二 秋葉講……………四八八

三 惠比須講……………四九〇

四 太子講……………四九〇

五 御嶽講……………四九〇

第三節 石神仏……………四九〇

一 馬頭観音……………四九〇

二 山の神……………四九〇

三 道祖神……………四九一

四 役の行者……………四九一

五 三界万霊……………四九一

六 洞別石神仏……………四九二

第六章 方言・口頭伝承……………四九四

第二節 方言……………四九四

一 根羽の方言……………四九四

二 方言の分類……………四九四

三 方言による村の昔話……………四九八

    1 月瀬の大杉……………四九八

    2 横畑の信玄塚……………四九九

    3 根羽ことば……………五〇〇

四 村の樹木・植物の方言……………五〇二

第二節 口頭伝承……………五〇三

一 伝説と民話……………五〇三

1 つたの滝……………五〇三

2 明神さま……………五〇三

3 こりとり淵……………五〇四

4 つるし岩……………五〇四

5 火の玉小僧……………五〇五

6 縛り地藏……………五〇六

7 源義経根羽通過の事……………五〇六

8 片桐の先祖……………五〇七

9 伊勢神明宮由来記……………五〇八

10 八百さの話……………五〇九

二 俗信・俚諺……………五〇

1 天 文……………五〇

2 衣……………五一

3 食……………五一

4 住……………五二

5 身 体……………五二

6 夫 婦……………五二

7 生 死……………五三

8 農 事……………五三

9 疾 病……………五三

10 その他……………五三

三 民謡・俗謡……………五四



1	盆踊り	五四
2	根羽の盆唄	五五
3	根羽で歌われた唄	五六
4	その他の唄	五〇
四	わらべ唄・子どもの遊び	五二
1	まりつき唄	五二
2	あそび唄	五四
3	子守唄	五六
4	いろいろの唄	五七
5	子どもの遊び	五七

第七章 芸能・娯楽

第一節 芸能

一 地狂言

第二節 娯楽

一 競技

二 娯楽

1 屋内

2 屋外

第八章 文化財

第一節 有形文化財

一	主な文化財	五四
1	月瀬の大スギ	五二
2	釜ヶ入の罅穴	五二
3	池の平の亀甲岩	五三
4	信玄塚と宝篋印塔	五三
5	ゴハンギョの道標	五四
二	石仏と旧跡	五四
1	馬頭観音立像	五五
2	馬頭観音坐像	五五
3	柚路の尹良様と狼煙台	五五

第二節 無形文化財

一 小戸名の獅子舞い

二 廻り太鼓

第三節 書画

一 絵馬

二 月舟の書

三 献額

四 新井の涅槃図

五 渡瀬凌雲略年譜と作品

付録 根羽村の地名

付表 根羽村一万年の歩み

編集後記(概要)



## 上巻目次の概要

第一編 自然	第五章 根羽高等植物目録……………	九五
第一章 地形と地質……………	第二章 原始・古代・中世	
第一節 根羽村の位置と地形……………	第一章 原始・古代……………	三五
第二節 根羽村の地質……………	第一節 考古学よりみた根羽……………	三五
第二章 気象と気候……………	第二節 根羽の遺跡……………	三三
第一節 概況……………	第三節 まとめ……………	三二
第二節 気温……………	第二章 中世……………	三五
第三節 降水量……………	第一節 荘園の設置……………	三五
第四節 日照……………	第二節 南北朝・室町時代の根羽……………	三七
第五節 風……………	第三節 戦国時代の根羽……………	三四
第六節 積雪……………	第四節 交通の発達と村の成立……………	三六
第七節 天気……………	第三編 近世	
第八節 季節の現象……………	第一章 支配制度と村の運営……………	三七
第九節 生物気象……………	第一節 支配者の変遷……………	三四七
第十節 気象にかかわりのあることわざ……………	第二節 村の構成……………	三五六
第十一節 まとめ……………	第三節 御触書と村定め……………	三五三
第三章 植物……………	第四節 村の財政……………	三五三
第一節 気候と垂直植生帯……………	第二章 土地制度と貢租……………	三五
第二節 植物の分布……………	第一節 検地と耕地……………	三五
第三節 帰化植物……………	第二節 貢租と課役……………	四四
第四節 各地のフロラ……………		
	第三章 戸口の変化と人口の構成……………	四五
	第一節 宗門……………	四五
	第二節 戸口の変遷……………	四六
	第三節 婚姻圏……………	四三
	第四章 山林の利用と山論……………	四四
	第一節 近世の山の利用……………	四四
	第二節 山論……………	四四
	第三節 山林資源の活用……………	四四六
	第五章 村人の生活……………	四五
	第一節 村の概況……………	四五
	第二節 農民の階層と生活……………	四五六
	第六章 江戸時代の交通……………	四六
	第一節 公用の道……………	四六二
	第二節 民衆の道……………	四六七
	第七章 中馬……………	四七
	第一節 中馬稼ぎの発生と沿革……………	四七五
	第二節 中馬と商品経済の発達……………	四八二
	第三節 他所との争い……………	四八四
	第四節 根羽村の中馬……………	四八九
	第八章 災害・飢饉と貯穀……………	四九四
	第一節 江戸時代の災害と凶作……………	四九四
	第二節 天明と天保の飢饉……………	四九五



第三節 備荒貯穀	五〇二
第九章 幕末の混乱	五〇七
第一節 国学の発達と尊王論	五〇七
第二節 不穏な世情	五〇八
第十章 木 地	五三三
第一節 木地屋の起源と制度	五三三
第二節 下伊那地方への入山	五三七
第三節 根羽・月瀬山の木地屋	五三九
第四節 根羽宿木地屋騒動	五三六